

第4章 給与の支給関係

1 給与の支給方法

○ 概要

職員が、月の初日から末日まで勤務する場合は、給料の全額をその月の一定の期日（給料の支給日）に支給される。

諸手当の中で扶養手当等については、給料の支給方法に準じて当月に支給される。

特殊勤務手当、超過勤務手当等勤務実績により支給される手当は、翌月の給料の支給日に支給される。

○ 関係法令

給与条例

（給料の支給方法）

第5条 給料は、月の初日から末日までの期間につき、給料の月額的全額を支給する。

2 給料の支給日は、月の16日以後の日のうちにおいて人事委員会規則で定める日とする。

給与支給規則

（給料の支給定日）

第2条 条例第5条第2項に規定する給料の支給日（以下「給料の支給定日」という。）は、毎月21日とする。ただし、その日が、職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成7年福島県条例第4号。以下「勤務時間条例」という。）第9条に規定する祝日法による休日（以下単に「祝日法による休日」という。）、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前において、その日に最も近い祝日法による休日、日曜日又は土曜日でない日を給料の支給定日とする。

（新たに職員となつた者又は退職した職員等の給料の支給日）

第3条 条例第5条第1項に定める期間（以下「給与期間」という。）中において給料の支給定日後に新たに職員となつた者及び給与期間中において給料の支給定日前に退職した職員には、新たに職員となつた日又は退職の日以後すみやかにその月分の給料を支給する。